

請書

## 1. 工事名

## 2. 工事場所

3. 工 期 令和 年 月 日 から  
令和 年 月 日 まで

4. 請負代金額 円

工事金額 円

消費税額 円

上記の工事の請負契約について、次の各項を承諾のうえ  
お請けします。

令和            年            月            日

請負者 住所

氏名

公益財団法人 自転車駐車場整備センター

理事長　　樺島　徹　　殿

1. この請書に定めるもののほか、別冊の図面及び仕様書に従い契約を履行すること。
2. この契約締結後10日以内に工程表を作成し、発注者に提出すること。
3. この契約により生ずる権利又は義務を、発注者の承諾がなく第三者に譲渡し、又は承継させないこと。
4. 工事は、発注者の定めた監督職員の指示があったときは、これに従い施行すること。
5. 発注者が必要があると認めるときは、工事内容を変更し、又は工事の全部若しくは一部の施行を一時中止されても異議がなく、これらにより工期又は請負代金額を変更する必要があるときは、発注者と協議して書面により定める。
6. 工事が完成したときは、直ちに発注者に書面より通知してその検査を受け、検査に合格したときは、遅滞なく書面を添えて工事目的物を引き渡すこと。
7. 検査の時期は、発注者が前項の通知を受けた日から14日以内の日とし、支払いの時期は、検査合格後発注者が適法な支払請求書を受領した日から40日以内の日とすること。
8. 自己の責に帰すべき理由より工期内に工事を完成することができないときは、請負代金額につき、遅延日数に応じ、年8.25パーセントの割合で計算した額を損害金として指定期間内に支払うこと。発注者の責に帰すべき理由により前項の規定による請負代金の支払が遅れた場合においては、未受領金額につき、同様の方法で計算した額を遅延利息として発注者に請求することができること。
9. 次の各号の一に該当するときは、契約を解除されても異議なく、契約を解除されたときは、請負代金額1/10に相当する額を違約金として指定期間内に支払うこと。
  - 一 自己の責に帰すべき理由により工期内又は工期経過後相当の期間内に工事を完成する見込みがないと明らかに認められるとき。
  - 二 正当な理由がないのに、工事に着手すべき時期を過ぎても工事に着手しないとき。
  - 三 前2号に掲げる場合のほか、契約に違反し、その違反により契約の目的を達することができないと認められるとき。
10. 損害金及び違約金は、発注者の支払うべき請負代金と相殺されても異議がないこと。
11. この契約に関して紛争が生じた場合は、建設工事紛争審査会のあっせん又は調停によりその解決を図ること。
12. この請書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と協議して定めること。